

平成31年度第4回広島市景観審議会車体AD専門部会 【会議要旨】

1 開催日時

令和2年2月12日（水曜日）午後3時～午後4時

2 開催場所

広島市役所本庁舎14階第7会議室

3 出席者等

- | | | | |
|-----------|----|--------|--------------|
| (1) 出席委員 | 委員 | 吉田 幸弘 | (よしだ ゆきひろ) |
| | 委員 | 森保 洋之 | (もりやす ひろし) |
| | 委員 | 大田 正樹 | (おおた まさき) |
| | 委員 | 柏尾 浩一郎 | (かしお こういちろう) |
| | 委員 | 坂本 貴寛 | (さかもと たかひろ) |
| (2) 協議関係者 | 5名 | | |
| (3) 一般傍聴者 | 9名 | | |
| (4) 報道関係者 | 0名 | | |

4 会議次第

- (1) 開会
- (2) 議事

車体広告の特例許可に係るデザイン協議について（車体広告の特例許可2件）

議案の1 広告主：株式会社トーシン住宅

広告代理店：株式会社明宣社

（広島バス市内路線バス1台）【新規】

議案の2 広告主：京浜急行電鉄株式会社

広告代理店：株式会社ティーエイシー

（広島電鉄市内路面電車1台）【変更】

- (3) 閉会

5 会議結果

車体広告の特例許可に係るデザイン協議について（車体広告の特例許可2件）

別紙のとおり

平成31年度第4回 広島市景観審議会車体AD専門部会会議結果

議事 車体広告の特例許可に係るデザイン協議について

議案の1 広告主：株式会社トーシン住宅
 広告代理店：株式会社明宣社

| 事前協議での主な意見 | 事前意見を踏まえた 広告主等の事前対応 | 車体AD専門部会での主な意見（2/12） | 意見に対する 広告主等の対応 | デザイン協議結果 |
|--|--|---|-------------------------------------|--|
| 《全体》 意見なし | 《全体》 — | 《全体》 意見なし | 《全体》 — | 部会の際に確認事項となった点について、事務局がバス会社に確認し、支障がないとのことであれば許可に差し支えないものとする。 |
| <p>《側面》</p> <p>(1) 会社ロゴは塊感があり大きく感じます。両側面の1/2が青背景であり、白背景部分もトーシンをイメージさせるスペースとなっているため、会社ロゴを縮小することで、より会社ロゴが際立ち、ブランド価値を上げることに繋がると感じます。</p> <p>(2) 左側面の会社ロゴは、スピーカーにかからないように縮小したほうが良いと思います。また、右側面の会社ロゴは、目地にかからないように縮小し、更に、全体を右寄せしたほうが良いと思います。</p> <p>(3) 左側面乗車口の下側の矩形がガラスでないか確認ください。その上で、昨年の広電バスとは、車体形状及びプローションが大きく異なるため、レイアウトの踏襲では、うまくいきせん。各エレメントの大きさ、位置など修正というより、デザインプランについて再考する必要があるかもしれません。</p> <p>(4) 窓上のスペースが狭いため、エレメントの挿入は窮屈に見えます。R部分のラインが何か確認してください。（レインガーターの場合もあるため。）</p> <p>(5) 窓上のスペースが狭く、CERULEANの英文字は小さく判読性に欠けるため、廃止しマークを下げた方がバランスが取れると思います。</p> <p>(6) R部分のセルリアンシリーズロゴ及びアルファベット部分ですが、レイアウト上、他の要素との統合性が見受けられません。この扱いであれば無い方が良いのでしょうか？</p> <p>(7) 両側面のURLのフォントの太さが違うのには意味がありますか？無いようでしたら統一したほうが良いと思います。</p> | <p>《側面》</p> <p>(1) 会社ロゴを小さくし、バランスを調整いたしました。</p> <p>(2) スピーカーにかからないよう縮小し、位置を調整いたしました。また、右側面の会社ロゴも目地にかからないよう縮小し、全体を右によせております。</p> <p>(3) 左側面乗降口の下側の短形はガラスですが、ガラス面にもシートを貼ることが出来ております。多少の凹凸はございますが、デザイン上は問題ないため、このようなデザインにしております。</p> <p>(4) 窓上のR部分はレインガーターではありませんでした。ラインはカーブを意味するものです。</p> <p>(5) 窓上のCERULEANの英文字は廃止し、ロゴも両側面に大きく表示してあるため、併せて廃止して文字のみでバランスを調整いたしました。</p> <p>(6) R部分のセルリアンシリーズロゴ+アルファベットは廃止いたしました。</p> <p>(7) 両側面のURLのフォント太さは同じ太さで統一しておりますが、背景色と文字色が違うことによって錯覚でどちらかが太く見えている可能性がございます。</p> | <p>《側面》</p> <p>左側面乗車口の下側の中抜きガラス面にラッピングすることは、安全上の観点等から支障がないのか確認すること。</p> | <p>《側面》</p> <p>事務局にて広島バスへ確認します。</p> | <p>確認事項</p> <p>《側面》</p> <p>左側面乗車口の下側の中抜きガラス面にラッピングすることは、安全上の観点等から支障がないのか確認すること。</p> <p>⇒ <u>確認の結果、支障がないことが判明し、部会長に了承いただいたため、許可に差し支えないものとする（協議を了したデザインは別図のとおり）。</u></p> |

議事 車体広告の特例許可に係るデザイン協議について

議案の2 広告主：京浜急行電鉄株式会社
 広告代理店：株式会社ティーエイシー

| 事前協議での主な意見 | 事前意見を踏まえた 広告主等の事前対応 | 車体AD専門部会での主な意見（11/27） | 意見に対する 広告主等の対応 | デザイン協議結果 |
|--|---|---|--|--|
| <p>《全体》 京急ロゴのコーポレートカラーは水色でこの色彩は京急車両の大半が使用しているカラーであり（赤とクリーム色）、今回の広告はこの車両のイメージに合わせてのことだと思いますが、広電に京急電車が走っていることは逆に誤解が生じませんか。大阪モノレールの先行事例もあるようですが、「広島らしい景観」「都市景観との調和とは」についてより深いカラー検討を望みます。</p> | <p>《全体》 広島電鉄に確認をしたところ、誤解が生じる等のトラブルや苦情は無いとの事です。 現在走行中の車両の色が少し暗いイメージがあるため、広島を街を活気づける「赤」として今回は少しだけ彩度を上げております。これから全国で展開される京急ラッピングの「赤」と、景観条例に配慮した上で作成した現在走行中の「赤」、その間を取る形で今回のカラーに至りました。</p> | <p>《全体》 意見なし</p> | <p>《全体》 ー</p> | <p>許可に差支えないものとする（協議を了したデザインは別図のとおり）。</p> |
| <p>《側面及び後面》 (1) 拡大してみたところ、ドアをわずかにまたがっている文字が、両側面2箇所ずつあるため、確認してください。 (2) 申請図面では人物の写真が窓枠に近く、若干タイトな印象を受けます。首の切れを考慮しつつ、若干の下げや縮小を検討した方が、より綺麗に纏まるかと思えます。</p> | <p>《側面》 (1) 文字がまたがらないよう、修正いたしました。 (2) 人物の首が色の境目にかからないよう、修正いたしました。</p> | <p>《側面》 意見なし</p> | <p>《側面》 ー</p> | |